

The 15th Youthleader Awards

第15回 若者力大賞 表彰式

2024年(令和6年)2月6日(火)

- 主 催：公益財団法人日本ユースリーダー協会
- 協 力：学校法人メイ・ウシヤマ学園
ハリウッド大学院大学
- 会 場：六本木ヒルズ
ハリウッドプラザ「ハリウッドホール」



公益財団法人

日本ユースリーダー協会

DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

式次第

(敬称略)

18:00 開会

審査委員紹介

ユースリーダー賞 吉住 海斗

ユースリーダー支援賞・個人部門 末永 幸歩

ユースリーダー支援賞・団体部門 NPO法人 WELgee
(代表理事 渡部カンコロンゴ清花)

実行委員会特別賞 想空

若者力大賞 前田 瑤介

閉会あいさつ 日本ユースリーダー協会会長 永野 毅

19:30 閉会

「若者力大賞」について

若者ならではの自由な発想と行動力をもって社会的活動に取り組み、同世代に夢と希望を与えている次世代リーダー、および、若者の持つ才能を見出し、伸ばすことで次世代リーダーを育成している、優れた指導者・団体を顕彰することにより、次世代育成に対する社会的な関心を高めることを目的に、協会設立40周年（2009年）を記念して創設。「若者力大賞」「ユースリーダー賞」「ユースリーダー支援賞（個人部門・団体部門）」で構成される。

- 審査委員 (敬称略)
- | | |
|-------|-----------------------------|
| 審査委員長 | 永野 毅 / 東京海上ホールディングス(株)取締役会長 |
| 審査委員 | 中村 公一 / 山九(株)代表取締役会長 |
| | 山中 祥弘 / 学校法人メイ・ウシヤマ学園 理事長 |
| | 橋本 久美子 / 橋本龍太郎元首相 令夫人 |
| | 高桑 早生 / パラアスリート |
- 第7回若者力大賞ユースリーダー賞受賞者

■審査方法・選考基準

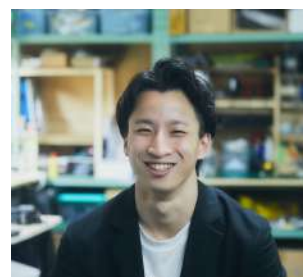
自薦他薦による応募の中から、外部有識者を中心とする審査委員会によって選考。選考基準として、「社会的影響・波及性」「将来性」「行動力」「陰徳の精神」「ユニーク性」などの項目が設定され、客観的かつ厳格に審査。「若者力大賞」はその中から、特に評価の高い活動、実績をあげているリーダーに授与される。

■若者力大賞

前田 瑠介 (まえだ ようすけ)

1992年生まれ

WOTA株式会社 代表取締役CEO



水問題を構造からとらえ、解決に挑む



世界最先端技術で
水問題を解く

世界の水問題の
構造的な解決を目的に
小規模分散型水循環システムの開発
と実装に取り組む

“本気の遊び”を
社会貢献に

人類の未来のための挑戦に
夢中で取り組み
世界一を目指す

■中学生の頃から「社会的な目的意識を持って世界中の人々とつながりたい」と、環境問題に取り組んできた。

■東日本大震災をきっかけに、水インフラ問題に着目。その後、「WOTA BOX」を開発し、生活排水の98%以上を再生循環可能とした。

■昨年は、7月の秋田豪雨災害、沖縄の台風6号災害、トルコ・シリア大地震災害、今年には、能登半島地震でも「WOTA BOX」が活用されている。

■今後は、日本国内の人口減少や老朽化に伴う水インフラの課題を解決し、世界に向けた新たな輸出産業を生み出していく。

■WOTAプロジェクトへの参加者全員が、人類の未来のための「水問題解決」への挑戦に夢中で取り組む「本気の遊び」を追及する。自分が変われば世界は変わると信じている。



あなたは「水問題を構造からとらえ、解決に挑む。」

という存在意義を掲げるWOTAを率いて

小規模分散型水循環システムを開発

上下水道の財政問題や、災害時の給水問題などに取り組み

日本のみならず世界の水問題の解決に挑戦しています

■ユースリーダー賞


吉住 海斗 (よしずみ かいと)

1999年生まれ

合同会社トンボ 代表社員



社会が子どもを育てる仕組みを「デザイン」する

| | | |
|---|---------------------------|---|
|  | 児童養護施設 就職支援 | 各施設の環境・違いを見える化 就職・転職用プラットフォーム構築 |
| | 施設の子どもの 将来の選択肢 | 施設の子どもが自分らしく生きる ために将来の選択肢をより多く 提供することを目指す |

あなたは自分が育った児童養護施設の課題を少しでも減らそうと施設と職員のマッチングや職員が幸せに働ける環境の「デザイン」によって社会が子どもを育てる仕組みづくりを目指しています

■ユースリーダー支援賞・個人部門


末永 幸歩 (すえなが ゆきほ)

1987年生まれ

アーティスト・アート教育者



自分だけの答えを見つけることの大切さを訴える

| | | |
|---|--------------------------|--|
|  | 新たな教育方法 アート思考 | 作品の成果ではなく 制作の過程に価値を置く 自分自身のものの見方を育む |
| | 教育現場の改革 | AIにはない、人間特有の 感性を育む人材を育てる 教育指導方法の改革を目指す |

あなたは自分自身のものの見方を育む「アート思考」を学校教育や社会全般に広めることで変化が大きい現代世界を生き抜くために自分だけの答えを見つけることの大切さを訴えています

■ユースリーダー支援賞・団体部門

NPO法人 WELgee (ウェルジー)

わたなべ かんころんご さやか
 代表理事 渡部 カンコロンゴ 清花
 1991年生まれ



『難民』とともに日本の可能性をひらきたい

| | | |
|--|---|-----------------------------------|
| | 「世界の難民と世界へ挑む」 難民人材 コーディネーションサービス | 難民×日本社会を通じて日本が 変わるエッセンスを見出していく |
| | 難民問題に 向き合い続ける 覚悟と姿勢 | 学生団体時代から難民問題と 向き合い続ける気概 |

あなたがたは 世界各地から日本に逃れてきた
 「難民」が持つ可能性を日本企業で生かす
 人材コーディネーションサービス「WELgee Talents」
 を運営し「難民」とともに
 日本の可能性をひらこうとしています

■実行委員会特別賞

想空 (そそら)

2005年生まれ
 大阪府立高校3年生・株式会社SOS 代表取締役



『子どものために』 中学3年生で起業した

| | | |
|--|---------------------------|----------------------------------|
| | “事業”としての 子ども支援 | 子どもへの配布・体験提供が 企業宣伝と社会貢献に繋がる |
| | 子どもが 生きやすい社会へ | 明確で揺るぎない志と情熱は 多くの若者のロールモデルとなる |

あなたは「子どものために」と中学3年の時に起業し
 使用型配布広告を開発して 児童養護施設に
 広告付きの文房具を寄付し 利益の10%を子ども支援の
 ために寄付し またメールで子どもたちからの
 相談を受けるなど 様々な支援を行っています

『若者力大賞』各賞過去受賞者（敬称略）

| 若者力大賞 | | | |
|-------|-------------------|----------------------------|---|
| 第1回 | MISIA | アーティスト | 歌手活動の傍ら、アフリカの教育支援に取り組み、多くの若者に影響を与えている |
| 第1回 | 田中 将大 | プロ野球選手 | 少年野球教室などを通じて子供たちに夢と笑顔を与えている |
| 第2回 | 栗城 史多 | アルピニスト | エベレスト登山の挑戦を通じて、多くの若者に夢と感動を与えている |
| 第2回 | 山口 もえ | タレント | タレント活動の傍ら、障害児のアート活動を支援している |
| 第3回 | 村田 修一 | プロ野球選手 | 自身の経験から、未熟児集中治療室NICUへの支援活動に取り組んでいる |
| 第4回 | 平原 綾香 | 歌手 | 新潟中越地震や東日本大震災に、一貫して歌を通じたボランティア活動に取り組んでいる |
| 第5回 | 宇佐美吉啓 | パフォーマー | ダンスを通じたユニークな活動が多くの若者や子供たちに勇気を与えている |
| 第6回 | 道端ジェシカ | モデル | モデルとして活躍する傍ら、国連UNHCRの活動に参加したり難民キャンプを訪れて実態を伝える |
| 第7回 | 倉木 麻衣 | 歌手 | 音楽活動と並行して、環境保全、災害復興、教育支援などに取り組んでいる |
| 第8回 | ジギャン・クマル・タバ | たまごプロジェクト ネパール代表 | 「ネパールと日本の架け橋になること」をミッションとして、震災を経験した両国の子供たちの交流を図っている |
| 第9回 | サヘル・ローズ | 女優 | イランで孤児院生活を体験し、児童養護に取り組み、家庭的養護の大切さを訴えている |
| 第10回 | 秋本 可愛 | Join for Kaigo代表 | 人の人生の輝きを最後まで支えるために、介護支援に取り組み、若者の介護リーダーを育成している |
| 第11回 | 高濱 宏至 | Class for Everyone 代表理事 | 途上国の教育を支援するために、太陽光パネルとパソコンを贈っている |
| 第12回 | 古井 康介 | (株)POTETO Media 代表取締役 | 政治をインターネット社会に連れていき、若者に身近なものにしている |
| 第13回 | 福澤 知浩 | 株式会社SkyDrive 代表取締役CEO | 「空飛ぶクルマ」で100年に一度のモビリティ革命を目指すベンチャー会社を率いる |
| 第14回 | 一般社団法人 異言語Lab. | 聴覚障害者を中心 とした団体 | 異言語脱出ゲームを通して、視覚言語と音声言語の「異なる」を楽しむ世界を創る |

| ユースリーダー賞 | | | |
|----------|----------|----------------------------|---|
| 第4回 | 福島 千里 | 陸上競技選手 | 小中学生向けの陸上教室を開催し、スポーツを通じた成長を教え、次世代の育成に情熱を注ぐ |
| 第4回 | 向田 麻衣 | NPO法人代表 | ネパールで、化粧を通じた女性のための自立支援に取り組む |
| 第4回 | 蛭間 芳樹 | 会社員 | 会社勤めの傍ら、防災塾など様々なボランティア活動を立ち上げ活躍している |
| 第5回 | 税所 篤快 | e-Education Project代表 | Bangladesh の貧困地域で、優秀な教師の授業を収録したDVDで授業を実践、成果を上げる |
| 第5回 | 玉城ちはる | ソングライター | 音楽活動と並行し、アジアからの留学生を自宅で預かるホストマザーを実践 |
| 第6回 | 阿部 真奈 | 大学生 | 高校1年の時に東日本大震災に見舞われ自宅と家族を失う。女川さいがいFMでアナウンサーを務め、町の声をインタビューした |
| 第6回 | 慎 泰俊 | NPO法人代表 | 大学院卒業後NPOを設立。貧困の撲滅を目指し、スリランカとカンボジアでマイクロ・ファイナンス事業を行っている |
| 第7回 | 高桑 早生 | パラアスリート | 足の切断というハンディキャップを、バネに替えて、パラアスリートとして世界に挑戦し子供たちに伝えて勇気づけている |
| 第7回 | 松中 権 | NPOグッド・エイジング ・エールズ代表 | 自らLGBTとして悩み、社会や家族から孤立することなく、誰もが自分らしく暮らせる社会の創造に取り組んでいる |
| 第8回 | 織田友理子・洋一 | 一般社団法人Wheelog代 表理事・事務局長 | 遺伝的筋疾患である「遠位型ミオパチー」と診断され、患者会としてNPO法人PADMを設立。厚生労働省より難病指定を受ける |
| 第8回 | 花柳 琴臣 | 日本舞踊家 | 日本舞踊の枠だけにとどまらず、モダンバレエや和太鼓とのコラボで、日本伝統文化の普及に尽力している傍ら、小中学校で日本舞踊を通し礼儀作法を教える |
| 第9回 | 堀江 敦子 | スリール代表 | 仕事と子育ての両立を体験させる「ワーク&ライフ・イクワン事業」を展開。大学生の将来のキャリア形成に役立たせている |
| 第9回 | 矢田 明子 | コミュニティーナース カンパニー代表 | 患者治療だけでなく、日常的な健康相談、街中での見守りなどを務めるコミュニティーナースの体制を各地に広げ、育成している |

| | | | |
|------|--------------------|------------------------------|--|
| 第10回 | 阿部 恭子 | NPO法WorldOpenHeart 理事長 | 日本で初めて犯罪被害者の家族を対象にした支援活動に取り組む |
| 第10回 | 市来広一郎 | 地域づくりアドバイザー | 生まれ故郷熱海の街に、地元の人々と多種多様な人々が集う新しい街の魅力を創出している |
| 第10回 | クリスティール・ バリシヨニア | 社会福祉法人 公寿会職員 | カナダから来日し定住。自身が車いす生活者で、日本のバリアフリー情報を海外の観光客向けにサイトを立ち上げて提供している |
| 第11回 | 矢島 信男・ 野村真之介 | お笑いコンビ 「オシエルズ」 | 「人を傷つけない笑い」でいじめをなくすために、教師をしながら芸人活動を行っている |
| 第11回 | 石井 彩華 | Light Ring.代表理事 | 全国の若者を支える自殺予防ゲートキーパーの養成・支援事業に取り組む |
| 第12回 | 鶴田 七瀬 | (一社)ソウレッシ代表 | 日本の性の課題に性教育を通じて取り組んでいる |
| 第12回 | 山崎聡一郎 | 教育研究者 | 法教育を広めることで複雑ないじめの問題の解決を目指している |
| 第13回 | 垣内 俊哉 | 株式会社ミライロ 代表取締役社長 | バリア(障害)はバリュー(価値)に変えられるという信念で株式会社を経営している |
| 第13回 | 山本 昌子 | ボランティア団体ACHA プロジェクト代表 | 児童養護施設出身者に成人式の晴着撮影を通じて「生まれてきて良かった」と感じて欲しい |
| 第14回 | 宇井 吉美 | 株式会社aba 代表取締役CEO | 介護の「わからない」を減らし介護がしなくなる社会を実現する |
| 第14回 | 浅川 純 | 株式会社Pale Blue 共同創業者兼代表取締役 | 水を推進剤としたエンジンで小型衛星を自由に移動させる |
| 第14回 | 川口 加奈 | 認定NPO法人Homedoor 理事長 | 14歳からホームレスを支援し再出発に寄り添っている |

ユースリーダー支援賞・個人部門

| | | | |
|------|--------|-------------------------|---|
| 第1回 | 横山 幸雄 | ピアニスト | 子供向けコンサートなどを通じて青少年の情操教育に尽力 |
| 第1回 | 廣田 和子 | 教育者 | 若者の留学支援に長年尽力し、多くのリーダーを輩出 |
| 第2回 | 橋本 昌彦 | シンガーソングライター | 「若いお母さんのためのラブソング」など若い世代への応援歌を多数歌う |
| 第2回 | 家本賢太郎 | 会社経営者 | 障害者としての苦難を乗り越え、ダイバーシティの推進等を通じて、国籍にとらわれない若手リーダー輩出のため精力的に取り組む |
| 第3回 | 日向ひまわり | 講師 | 小学校で講義を取り入れた歴史授業のボランティア活動に取り組む |
| 第4回 | 安岡 定子 | 塾講師 | 安岡活学塾講師。論語の素読を通じて、青少年の健全な育成に尽力している |
| 第6回 | 岡本 正 | 弁護士 | 東日本大震災で被災者の相談内容およそ4万件を解析し、救済のための現行法制度の不備をあぶり出し、新たな法制度の立法化に取り組む |
| 第7回 | 池本 修悟 | 社会創発塾代表 | 東日本大震災で理論に基づく社会運動を多くの団体と実践し成果を上げた。若い世代に、Social Innovationへの挑戦を呼びかけて指導している |
| 第7回 | 原田 謙介 | NPO YouthCreate代表 | 20代の若者たちの政治への関心と、投票率の向上を目指して、若者と政治をつなぐさまざまな活動を企画実践し、意識改革の機会を与えている |
| 第8回 | 藤沢 烈 | (一社)RCF代表理事 | 東日本大震災復興に向けた調査を行う団体としてRCFを発足。地方創生の制度作りにも尽力し、国から100名程度の30歳以下の若い副市長を地方自治体に送った |
| 第9回 | 小杉 周水 | 音楽家 | 生まれつき目の障害があり、育児と音楽を組み合わせた「育音」を始める。自ら障がい者施設などを訪問し、子どもたちに夢を、保護者には希望を与えている |
| 第10回 | 加藤 篤 | NPO法人日本トイレ研 究所代表理事 | トイレに対する社会の認識の低さに警鐘をならし、災害時の防災トイレ計画や、身近な小学校のトイレなど、トイレからの社会改善に向けた活動に取り組む |
| 第11回 | 横山 太郎 | 緩和ケア内科医 | 中高生に介護施設や緩和ケア病棟などを体験させ、「10年後の未来を考える」をテーマに超高齢社会を学ばせる |
| 第12回 | 白石 祥和 | 非営利特定活動法人 With優代表 | 不登校や引きこもりの青少年が学びそして働ける場所を提供している |
| 第13回 | 羽村 太雅 | 手作り科学館Exedra 館長 | 科学コミュニケーション活動により、大人にも子どもにも世界観の革新を促す |
| 第14回 | 池上 京 | 株式会社MIRAling 代表取締役社長 | 実践的な次世代リーダー教育でイノベーションを生む人を育てる |

ユースリーダー支援賞・団体部門

| | | |
|-----|--------------------------------|--------------------------------------|
| 第1回 | (財)日本サッカー協会 「JFAこころのプロジェクト」 | プロサッカー選手などアスリートによる、子供たちのための「夢の教室」を主催 |
|-----|--------------------------------|--------------------------------------|

| | | |
|------|--------------------------------|--|
| 第1回 | 日本ガーディアン・エンジェルス | 防犯パトロールなど青少年の健全な育成に寄与 |
| 第3回 | NPOかものはしプロジェクト | カンボジアでの児童買春防止活動に大きな成果 |
| 第3回 | アクセンチュア(株)CC推進室 | 若年層のためのCSR活動に全社あげて取り組んでいる |
| 第4回 | NPOブリッジフォースマイル | 児童養護施設退所後の青少年の自立を助ける活動に取り組む |
| 第4回 | NPOスターパワー | トップアスリートによる社会貢献活動を推進。アスリートと地域・子供たちをコーディネート |
| 第5回 | チャリティーサンタ | ボランティアの大人たちがサンタクローズになってチャリティ活動を行う。日本のみならず世界の貧しい子供たちへ夢を届けている |
| 第5回 | まちの保育園 | 子どもたちを、保育士だけで育てるのではなく、地域ボランティアによる多種多様な大人たちが保育にかかわる取り組みを実践 |
| 第6回 | 大嶽部屋 | エジプト出身の大相撲力士・大砂嵐の入門を受け入れ、部屋を挙げて異文化の違いに正面から挑戦し、見事、関取に育て上げた |
| 第7回 | STUDY FOR TWO | 勉強したいと願うすべての子供たちが勉強できる世界、を理念に掲げ、自らのアイディアで、途上国の子供たちのための支援活動を実践 |
| 第8回 | NPO法人ACE | 「児童労働に反対するグローバルマーチ」を日本で実施するために団体を立ち上げ、児童労働の根絶や教育環境の改善に尽力している |
| 第9回 | (株)リバネス | 「科学技術の発展と地球貢献を実現する」という理念のもと、小中学校への出前実験教室などを実践。ベンチャー育成にも力を注ぐ |
| 第10回 | 障がい者支援施設こころみ学園 ココファーム・ワイナリー | 知的障がいを持った人々とブドウ畑でワイン造りを始めて50年。2000年の九州沖縄サミットや、2008年の洞爺湖サミットでも採用された |
| 第11回 | NPO法人アジア人文文化交流促進協会 | 日本に住む定住外国人が直面する様々な困難を解決し、日本の社会での「文化共生」を実現するために活動している |
| 第12回 | いちほの会 | 一時保護所を子どもたちが安心できる場所にと関係者が集い改善を目指している |
| 第13回 | NPO法人Peace Culture Village | 広島、原爆ドーム周辺で「平和」を次世代につなげる活動をしている |

| 実行委員会特別賞 | | | |
|----------|---------------|----------------|--|
| 第12回 | 中川 花乃 | 支援団体StellabO代表 | ガン患者のいる家庭の子どもたちの心の支援をアートで実現しようと活動をしている |
| 第13回 | NPO GlocaLand | | 離島やへき地の医療格差に真正面から挑みつつあるNPO |

日本ユースリーダー協会の活動は、以下の法人会員と個人会員の方々に支えられています。
(あいうえお順)

旭化成(株) (株)アテナ (株)石井鐵工所 五十鈴(株) エア・ウォーター(株)
 NSユニテッド海運(株) ENEOSホールディングス(株) (株)江ノ島マリンコーポレーション
 鹿島建設(株) 川崎重工業(株) キャリアフラッグ(株) 共英製鋼(株) 協材興業(株)
 (公財)勤労青少年躍進会 KDDI(株) 山九(株) (株)滋慶 (有)J&I セイコーグループ(株)
 清和綜合建物(株) 大日本土木(株) (一社)中部産業連盟 東京海上日動火災保険(株)
 東京海上ホールディングス(株) 東京商工会議所 東銀リース(株) トーヨーカネツ(株)
 トピー工業(株) (株)日清製粉グループ本社 日鉄エンジニアリング(株)
 日鉄ケミカル&マテリアル(株) 日鉄鋼板(株) 日鉄興和不動産(株) 日鉄ソリューションズ(株)
 日鉄ドラム(株) 日鉄物産(株) (株)NIPPO 日本製鉄(株) (株)日本政策投資銀行
 (株)ニヤクコーポレーション (株)乃村工藝社 阪和興業(株) 東日本電信電話(株)
 BIPROGY(株) (株)みずほ銀行 三谷産業(株) 三井物産(株)
 (学)メイ・ウシヤマ学園 (株)メタルワン



公益財団法人
日本ユースリーダー協会
 DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

〒105-0002
 東京都港区愛宕1-6-7 愛宕山弁護士ビル8階
 公益財団法人日本ユースリーダー協会
 TEL: 03-6441-0581 FAX: 03-6441-0582
 メールアドレス: day@youthleader.or.jp
 ホームページ: <https://www.youthleader.or.jp/>